

事務事業評価シート

(評価対象年度：令和元年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名		堀河ダム維持管理事業				②事業番号		3408				
③事業類型		4. 施設等維持管理事業		④開始年度		昭和	48	年度	⑤終了予定年度	年度	○	設定なし
⑥根拠法令等		法令	○ 条例	規則	○ 要綱	計画等	その他 法令等の名称 堀河ダム用水使用等についての条例					
⑦実施手法		直営	全部委託	○ 一部委託	補助・負担	その他						
⑧関連予算科目コード		款	5		項	1		目	5		細目	1
⑨担当部名		市民生活環境部		⑩担当課名		産業観光課		会計		一般会計		

2. 事務事業の現状把握【DO】

〔1〕事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)		対象指標(対象者数を表す指標)		単位	
① 堀河ダム下流(金熊寺・男里川水系)農地		① 貯水容量		千トン	
②		②			
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)		活動指標(活動の量を表す指標)		単位	
・泉南市東南部山地金熊寺川上流部から下流地域における農業用排水を効率的に行うため、堀河谷に大阪府営事業として昭和37年度より着工し、同46年度末に竣工。同48年10月より泉南市に管理業務が委託された。 ・ダムの取水施設等が老朽化したため、平成29年度より令和元年度の3年間で改修工事をおこなう予定であったが、工事の一部分が令和2年度に延長となった。		① 取水施設等改修進捗率		%	
		②			
		③			
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位	
・金熊寺・男里川水系の農業用水の確保。		① 平均貯水量		m	
		②			
		③			
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)		総合計画体系上の位置付け			
・農業生産の安定が図られることにより農業の継続につながり農空間の保全に資するものである。 その他の体系上の位置付け (3—1—1—2)：農地の保全され活用される。		政策(章)	3	産業の活力が増し、賑わいと交流が生まれるまち	
		施策大(節)	1	大地と海からの恵みとしておいしく安全な食料を供給し続けるとともに、魅力的な農業と漁業のあるまちをめざします	
		施策中	1	農業の振興	
		施策小	1	農業基盤の整備	

〔2〕各種指標値、事業費の推移

		指標名	単位	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3目標	指標値の推移における 特殊要因などの説明
対象指標①		貯水容量	千トン	2,350	2,350	2,350	2,350	—	
対象指標②									
活動指標①		取水施設等改修進捗率	%	7.4	31	67	100	—	
活動指標②									
活動指標③									
成果指標①		平均貯水量	m	1,852,064	1,858,276	2,051,340	2,051,340	—	
成果指標②									
成果指標③									
事業費	投入人員	正職員	人	0.13	0.13	0.13	0.13		事業費などの推移にお ける特殊要因などの説 明
		任期付職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
		臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	事業費	人件費(投入人員＊単価)	千円	1,044	1,054	1,003	1,003		R2については、取 水施設等改修工事 が減少したことにと もない、府営土地改良 事業負担金が減額と なるため。
		直接事業費	千円	2,657	5,335	6,980	2,962		
総事業費		千円	3,701	6,389	7,983	3,965			
財源内訳	国庫支出金		千円	0	0	0	0		
	府支出金		千円	0	0	0	0		
	受益者負担金		千円	0	0	0	0		
	その他特定財源		千円	0	0	0	0		
	一般財源		千円	3,701	6,389	7,983	3,965		

〔3〕事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	農業用水の確保と排水を効率的に行うため。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	完成後、40年が過ぎ、平成24年、大阪府により耐震性能診断が行なわれ、大規模地震の発生後も貯水機能は維持されとの判断結果が出ているが、取水施設等の老朽化が進んでいるため、随時改修していく必要がある。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

3. 事務事業の評価【CHECK】

〔1〕目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔1〕の評価

A

評価項目	評価及び理由・説明等	
①事務事業の意図すること(目的)は、上位施策(施策小)の達成に貢献しますか。	ア. する イ. ある程度 ウ. しない	ダム維持管理により、安定した農業用水の供給が可能となり、結果、農業生産の安定につながり、農業基盤の保全が図られるものである。
②税金を使って達成する目的ですか。 (市が関与する必要がありますか、市民(特に納税者)の納得が得られますか。民間に類似サービスはありませんか。)	ア. はい イ. ある程度 ウ. いいえ	「大阪みどりの百選」にも選ばれているように、景観は美しく、春の桜並木には毎年多くの観光客で賑わっているため税金を使って除草等の維持管理は必要である。
③対象範囲、単価、事業費規模は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている イ. ある程度 ウ. いない	最少の維持費で管理している。
④事務事業を休止・廃止した場合、市民生活(あるいは上位施策)への影響はありますか、ある場合それは大きいですか。	ア. 影響がある イ. ある程度 ウ. ない	当市最大の水瓶が無くなれば、灌漑農地が増加し、農家が大幅に減少する。

〔2〕有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔2〕の評価

A

⑤期待どおりの成果が得られていますか。	ア. 得られている イ. ある程度 ウ. いない	—
⑥今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができませんか。)	ア. ある イ. ない	市単独では余地は無く、大阪府との協議が必要である。
⑦庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。	ア. 類似なし イ. できる ウ. できない	—

〔3〕効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔3〕の評価

A

⑧成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費+人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などではできませんか。)	ア. ある イ. ない	現在の事業費は維持管理に必要な費用のみであり、今以上の削減は維持管理に支障きたす。
⑨受益者負担の適正化余地はありませんか。 (歳入確保はできませんか。)	ア. ある イ. ない	—

4. 総合評価

総合評価	評価(A～D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	A: 現状のまま事業を進めることが適当 B: 課題が少しあり事業の一部見直しが必要 (事業の進め方に改善が必要) C: 課題が多くあり事業の大幅な見直しが必要 (事業規模、内容、実施主体の見直しが必要) D: 事業の統合、休止・廃止の検討が必要
	A	堀河ダムは、当市農家にとって農業用水の確保と農業用排水を効率的に行うための大切な施設であり、そのためには、当市の管理・運営は必要である。	

5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性>

ア	ア. 現状のまま継続	イ. 見直しのうえで継続	ウ. 終了 ↓ (年まで)	エ. 休止 ↓ (年から)	オ. 廃止 ↓ (年から)
	＜今後の展開方針＞ a. 重点化する(集中的なコスト投入) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) c. 効率化する(コストを下げる) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)				
①改革、改善の具体案、実施年度など	—				
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策	—				